【クラブ活動報告】

創立70周年記念事業
記念コンサート-アウトリーチ ～音の種をまこう♪～

田辺ロータリークラブ
創立70周年記念委員会・記念事業委員会

紀伊民報１２月９日付 （9 ページ） 第24126号 日刊

演奏彩る作品募集
来年4月にコンサート
田辺ロータリーC

美しい音色響く
田二小でコンサート

共演者も募集

コンサートの最後には、３人の演奏と矢澤定明さんの指揮で全校児童が校歌を歌った（田辺市東陽で）

©紀伊民報社

田辺ロータリークラブ（新藤整市会長）は来年4月9日、田辺市新屋敷町の紀南文化会館大ホールで、クラブ結成70周年を記念したコンサートを開く。演奏中にスクリーンに映る写真や絵画、オーケストラと共演したい人を募集している。いずれも締め切りは3月31日だが、応募多数の時は期日内でも締め切る場合がある。

70周年記念事業。コンサートのほか、地元の学校への出張コンサートをしている。紀伊民報後援。

プロのオーケストラの生演奏に合わせ、写真や絵画を会場のスクリーンに映す。作品のテーマは、紀南地方の風景、暮らし、出来事など。提出方法は、メールアドレス（xxxxxx-xxxxxx.com）へ、件名を「写真・絵画作品応募」として作品を添付して送る。プリント送付の場合は、郵便番号646－0031 田辺市湊2006、田辺ロータリークラブへ郵送する。メール、郵送ともに氏名、連絡先、年齢、ファイル形式はJPEG、1920×1080ピクセル以上。

最優秀賞（1人）、優秀賞（3人）に選ばれると、作品に合わせて演奏してほしい曲を指揮者と相談の上、選曲できる。最優秀賞受賞者で希望する人はプロのサポートの下、指揮もできる。コンサートのチラシで詳細を確認できる。

チラシは、田辺ロータリークラブの事務局やホームページで配布している。希望者はチラシの裏にある申し込み用紙に必要事項を書き、田辺ロータリークラブに送ればよい。問い合わせは、田辺ロータリークラブ（0739・24・2002）へ。

田辺ロータリークラブは5日、田辺市東陽の田辺第二小学校で、プロの演奏家による クラシックコンサートを開いた。全校児童約300人が美しい音色を楽しんだ。

指揮者で音楽監督の矢澤定明さん、チェロの小林真裕さん、コントラバスの谷脇友里恵さん、ピアノの江川智沙穂さんが訪れた。オペラ名曲のメドレーやバレエ「くるみ割り人形」（チャイコフスキー作曲）のメドレーなどを披露、演奏の合間には楽器や曲の説明もした。最後は指揮と演奏に合わせて、同校の校歌を全校児童で歌った。全校児童がそろって歌うのはコロナ禍後初めて。拍手やマスク着用などの感染予防をして歌った。

6年生の田鍋笑美さんは「くるみ割り人形のお話が好き。その曲を目の前で演奏してもらえて、お話がもっと好きになった。演奏を聴いたら、穏やかな気持ちになれた」と話した。

田辺第二小でのコンサートの後は、みなべ町の南部中学校でも同様のコンサートがあり、南部中生徒と町内の南部小、岩代小の児童が鑑賞した。6日には岩田小（上富田町）でも開いた。

本年度70周年を迎えました。記念事業として、2023年4月9日に紀南文化会館において、指揮者矢澤定明氏を総合監督にお迎えして記念コンサートを開催いたします。

その一環として「音♪の種をまこう」という事で、記念コンサートまでの期間でアウトリーチとして出張コンサート、幼稚園・小中高の学校へプロの演奏家が直接現地を訪問し、子供達にプロの演奏を生で聞いて戴く企画をたてました。生の音楽に触れることにより子供たちに感動を与え、コロナ過で様々な制約がある中、元気に共に前を向いて歩んでいくきっかけの一つになればと考えます。

各教育委員会を通して募集を行い、第1回目として12月5日に田辺市立第二小学校とみなべ町立南部中学校、12月6日に上富田町立岩田小学校にて行いました。